

施工も承ります！

# フランジ漏洩および予防修理工法

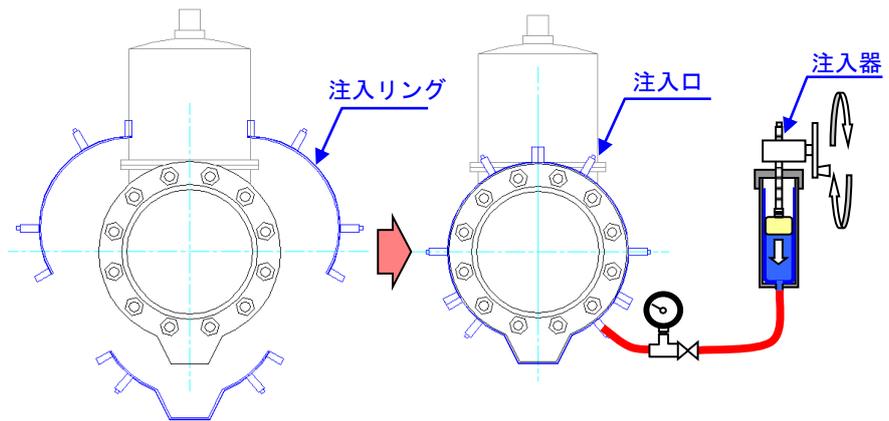
本工法は、フランジ部全周に補修剤注入口を設けた『注入リング』を装着し、その注入口から補修材を注入機で圧入する、パッキンの切断を必要としないフランジ漏洩修理工法です。



## 【施工概要】



注入リング  
(写真は台座付き)



## 【施工状況】



注入リング取付け状況



補修材注入状況



フランジボルトからの漏洩は、  
注入ボトルに交換し補修材を直接注入

## 【適用範囲】

- ・ 圧力：中圧A、中圧B、低圧
- ・ 口径：100～750A（他口径要相談）
- ・ フランジタイプ：FF、RF  
（台座付きフランジにも対応）
- ・ パッキンタイプ：シート、OS

## 【特長】

- ・ 既存のパッキンの切断を必要としない修理工法です。
- ・ 芯ずれているフランジからの漏洩も、ステンレスバンドがボルトの締付けにより馴染み、補修材充填時の気密性を保持します。
- ・ 補修材をガス圧より高い圧力で加圧注入するので、漏洩部を含め隅々まで補修材が行き渡ります。
- ・ 補修材は、耐候性の高い100%シリコン樹脂を使用するため、長期間安定した気密性能を発揮します。